



50th



三ツ境通信

(みつきょう つうしん)

令和3年度 校長室だより

第3号 R3. 6. 25

第1回学校運営協議会

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）がスタートして2年目となりました。昨年度は新型コロナウイルス感染症対策の中、書面やオンライン等も使いながら委員の方々との協議をすすめてきたところです。

5月27日に今年度第1回協議会を開催いたしました。今年こそは学校の様子や子どもたちの学習の様子などを実際に見ていただく機会を持ち、協議をいっそう深めていきたいと願っています。

制限なく自由に学習活動ができるようになるまでは、段階的にその時々に応じた対策をしていく必要があると思っています。現状のコロナ禍において、各学部でこれまでに取り組んできた地域と連携した活動、たとえば小学部や中学部では小学校や中学校との学校間交流、また高等部では地域における作業班の製品販売、あるいは清掃班の近隣清掃活動などを、どのような対策があれば実施できるのか考えながら段階的に再開するための方策を探っているところです。

学校運営協議会では今後を見据えて、地域と共にある県立特別支援学校にしていくにはどのような仕組みがあるとよいか、さらに協議を深めたいと思います。そこから共生社会の実現や、児童生徒の自立と社会参加につながる地域貢献活動や連携協働した活動等の具体的な取組みにつながる第一歩にしたいと思っています。

卒業後に向けた力を

高等部の授業では作業学習や実習を中心に、体験を積み重ねながら卒業後に必要な力の育成を図っています。

先日、分教室で行なっている職業体験の授業を見学しました。学校から歩いて行ける範囲の

お店や公共施設等で仕事をするを通して、社会人としてのマナーや態度、継続や責任など多くのことを学んでいました。週1回行うこの授業が実施できるのは、職業体験現場をご提供いただいているの方々のおかげであり、大変感謝しております。生徒たちのことをいつもあたたかく見守って下さり、励ましていただいています。生徒たちは社会で働くとはどういうことか具体的なイメージが醸成でき、自分の課題に向き合いながら努力を重ねています。どの生徒も校内や教室での顔とは違い、一人ひとり学びながら成長していることを実感いたしました。

医療的ケア保護者説明会

5月に医療的ケア保護者説明会を行いました。学校からの説明や情報提供を行いました。当日はご参加くださった保護者の皆様からいろいろな情報や話題を提供いただきました。いつもご理解ご協力をいただき感謝申し上げますとともに、これからも連携を図りながら子どもたちの学校生活を充実していけるよう、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

校長室の作品展より



校長 片山 由美